

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	岐阜の島町立西郷小学校		児童数 (R3. 5. 1 現在) 307名
校 長 名	斎藤 毅一		体育主任名 青木 悠介
1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）			
<b>体力・運動能力調査 結果より（全学年対象）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持久力は高い。20m シャトルランでは高学年で県平均を上回っている。</li> <li>・握力、上体起こしは、全学年で男女とも平均を下回っている。</li> </ul>			
2. 前年度の実技習得状況調査（水泳 R2. 8月、鉄棒 R3. 1月調査依頼）の結果			
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	
県平均		52.4%	
自校			
3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に運動部は設置していない。全校児童の約 60%が、地域のスポーツクラブに属している。</li> <li>・特に水泳、卓球、バスケットボール、柔道、野球のクラブに入っている児童が多い。</li> </ul>			
4 今 年 度 の 取 組	(1) 具体目標・数値等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力・運動能力等調査の「握力」、「上体起こし」の項目で、5点以上の児童が全体の 60%以上になるようする。</li> <li>・学校評価のアンケートで、80%以上の児童が「体力がついた」と回答する。</li> </ul>		
	(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島後小体連理事会研究会と体力向上訪問をもって、校内研修の場とする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業で生かせる、「握力」「上体起こし」などの筋力を高める運動を教職員間で共通理解したり、体育の授業の帶活動として取り入れたりする。</li> </ul> </li> </ul>		
(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝 3 分間、全校朝マラソンの時間を設定する。冬季は縦割り班で大縄 8 の字跳びをする。また、上記の練習の成果を発揮する機会として校内マラソン大会となわとび大会を実施する。児童が伸びを実感し、意欲向上につながるよう記録カードを用いる。</li> <li>・体育委員会の全校活動で、「握力」「上体起こし」の向上に寄与する活動を計画する。</li> </ul>			
(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力に関する児童の優れている点・課題について、家庭に文書などでお知らせする。</li> <li>・生活習慣アンケートの結果や、年三回実施している「チャレンジ 5 デイズ」（子どもたちの生活習慣を見直す取組）の結果をもとに、児童への呼びかけ、保護者への周知を図る。（メディアとの接触等）</li> <li>・長期休みには家庭でも取り組みやすい運動をお知らせする。</li> </ul>			
5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）			



## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	隠岐の島町立中条小学校		児童数 (R3.5.13 現在) 64名									
校 長 名	村上 浩一	体育主任名	久野 槟悟									
<b>1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）</b> <p>令和2年度に校内で実施した体力・運動能力等調査の主な結果として、総合評価でA段階の評価の児童は全種目を実施した59名中18名（全体の30%、昨年度より+10ポイント）。C段階以上の評価の児童は59名中48名（全体の81.3%、昨年度より+4ポイント）であった。</p> <p>この結果を島根県の平均（令和2年度しまねっ子！元気アップレポートを参考）と種目別に比較すると、握力、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルランについて多くの学年で県平均を上回っており、令和元年度よりも県平均を上回った学年が増えた。一方、県平均を上回った割合が低い種目は、長座体前屈と50m走である。特に長座体前屈は県平均と比べて全体的に数値が低い。</p>												
<b>2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th> <th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td></td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td>自校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均		52.4%	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均		52.4%										
自校												
<b>3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況</b> <p>社会体育への参加状況は男子の約6割の児童がスイミングスクール、野球、サッカー、武道関係の社会体育に参加している。女子は約4割の児童がスイミングスクール、バレー、卓球に参加している。</p>												
4 今 年 度 の 取 組	<b>(1) 具体目標・数値等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度体力・運動能力等調査でC段階以上の評価の児童が90%以上となることを目指す。</li> <li>・器械体操運動の指導を充実させる。</li> <li>・運動量確保と多様な運動との出会いを重視した授業づくりを行う。</li> </ul>											
	<b>(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めの職員会議にて、1年間の体育活動についての計画を示した。今後、今年度の本校児童の課題をもとに検討する。</li> </ul>											
	<b>(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、自己の体力、運動能力の向上を実感したり、努力の跡をふり返ったりすることができるよう手立てを工夫し（体育授業の研究、個人カード、結果の掲示等）、運動への意欲を高める。</li> <li>・体育の授業の中での準備運動の際に、柔軟運動やストレッチを意図的に行うなどして、児童の柔軟性を養う手立てを取り入れる。</li> <li>・運動の基礎として低学年、中学年、高学年で技能についてのミニマムを設定し、全校で達成できるように取り組む。年度末に授業者によるチェックを行い、次年度に引き継いでいく。</li> <li>・昨年度までの島後小体連で取り組んできた器械体操運動の指導方法についての研究成果を校内で共有し、体育の授業に生かす。</li> </ul>											
	<b>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</b>											

組	<ul style="list-style-type: none"><li>・朝マラソンや全校リレー・大縄チャレンジ（月・金曜日の朝活動 約10分）</li><li>・校内マラソン大会（各学期1回・計3回）及びマラソン強化月間・縄跳び大会及び縄跳び遊びの奨励</li><li>・課外活動による運動の場作り（1学期：陸上、2学期：バスケットボール）</li><li>・児童会と連携し外遊びの奨励を行う。</li></ul>
	<p>（5）家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域スポーツ少年団やPTA活動との連携、参加の奨励。</li><li>・保健便りや学級通信を活用した運動、健康づくりに関する家庭啓発。</li><li>・養護教諭と連携した授業等による食の学習の充実。</li></ul>
5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）	<p>○</p> <p>●</p>

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	隠岐の島町立有木小学校		児童数 (R3.5.1 現在) 35名					
校 長 名	横田 康	体育主任名	後藤 亮介					
1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）								
○昨年度の体力向上の取り組みとして、朝の時間に体を動かす活動を常時活動として設定した。晴天時にはマラソン、雨天時にはなわとび、体つくりの運動、ストレッチを行った。毎週金曜日の朝の時間は、全校遊びの時間とし、児童会を中心に遊びを考えて取り組んだ。また、定期的に行った活動としては、学期に1度の校内マラソン大会の実施、3学期にはなわとび大会を実施した。								
年度当初は緊急事態宣言等の影響もありシャトルランの記録が例年と比べてかなり低い結果であったものの、年間を通して上記の取り組みを行った結果、全校の88%の児童が校内マラソンの記録を更新することができ、学校全体として基礎体力が向上させることができた。								
○昨年度の体力テストの結果を見ると、ソフトボール投げの数値が全体的に低い傾向にあることが分かる。児童の普段の遊びや運動習慣の中で、投動作を行うことが少なくなっていることが要因として考えられる。								
2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果								
6年生の水泳運動「25m完泳率」		4年生の器械運動「逆上がり達成率」						
県平均		52.4%						
自校								
3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況								
・中高学年の約5割の児童が、バスケットボール・スイミング・柔道・バレー・ボーラーいずれかの地域スポーツクラブに所属している。								
4 今 年 度 の 取 組	(1) 具体目標・数値等							
	①令和3年度体力・運動能力等調査においてC段階以上の評価80%以上を目指す。 特に、昨年度数値の低かったソフトボール投げの数値の向上（投動作の習得）に重点を置いて取り組む。							
	②内容と方法 下記の項目(2)～(5)							
	③評価方法 ・体力テストのデータ検証による評価。 ・アンケート（運動への意欲調査）のデータ検証による評価。 ・学校評価、教職員アンケート結果の検証による評価。							
(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画								
○島後小体連の研究部との連携 ・昨年度、島後小体連がマット運動についての研究実践を行っていたので、本年度はその成果を校内の授業や研修にいかしていく。 ・島後小体連が行う授業公開や研修会等に積極的に参加して連携を図る。								

4 今 年 度 の 取 組	(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や <u>重点化する領域・指導内容等</u> ）
	・器械運動領域などにおいて、児童が主体的、対話的で深い学びを行う手立てとして学習カードを活用した授業を行う。（学習カードの効果的な活用法や振り返りの仕方などについて、島後小体連と連携する）
	・全学年で、体育の時間に筋力を高める運動・多様な動きができる運動を行う。 (基礎感覚を養うためのセット化された準備運動を開発する。)
	・授業の導入段階に5種目歩走を行い、年間を通じて取り組んでいく。
	・「わたしたちの体育」を活用した授業を行う。
(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）	
・朝の時間（マラソン・なわとび）を中心とした運動時間・場の確保に取り組む。 ・放課後の時間を利用した体力作りの継続 ・握力強化のための鉄棒運動の奨励 ・校舎内で遊び感覚でできるトレーニングの場の設定（1段飛ばし階段、ジャンプチャレンジなど）	
(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等	
○地域との連携による取組 ・PTAスポーツ活動への参加の奨励。	
○体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組 ・「生活習慣チェック」を通じた、よりよい生活習慣作りに関する実践と、家庭啓発。 ・保健便り、学級通信を通した運動、健康作りに関する家庭啓発。	
5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）	
○	
●	

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	隱岐の島町立磯小学校	児童数 (R3. 5. 1 現在)	78名
校 長 名	福本 美由紀	体育主任名	高宮 秀司

### 1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）

#### 【強み】

- ・男子は、すべての学年で合計点が全国平均を上回っている。特に4年生以上では、D・E判定の児童が1人もいない。課題である柔軟性にも改善の傾向が見られる。
- ・女子もほとんどの学年で、合計点が全国平均を上回っている。全体的にD・E判定の児童が少ない。
- ・全体的に、持久走の数値が高い。マラソンやリレーなど、走ることを楽しんでおり、抵抗は少ない。

#### 【弱み】

- ・「握力」の数値が、男子は4つの学年で、女子は3つの学年で全国平均を下回っている。
- ・「長座体前屈」は、男子は2つ、女子は3つの学年で、全国平均を下回っている。
- ・「50m走」は、男女とも3つの学年で、全国平均を下回っている。

### 2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3. 1月調査依頼）の結果

	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」
県平均		52.4%
自校		

### 3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況

- ・男女とも、約40%の児童が、地域の野球、水泳、サッカー、卓球、バスケットボール、バレー、柔道、相撲などに参加している。男女とも、運動の機会には恵まれている。

#### (1) 具体目標・数値等

- ・D・E判定の児童の割合を前年度よりも減少させる。
- ・中学年・高学年の児童にアンケートを行い、器械運動が好きではない児童の割合を減少させる。

#### (2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画

- 4  
今  
年  
度  
の  
取  
組
- ・体育の授業における困り感について、教職員にアンケートを行う。
  - ・楽しみながら運動し、結果的に握力や長座体前屈の数値が高まるような運動について研究し、校内に広める。

#### (3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）

- ・年間指導計画の見直し（現在、水泳やなわとびの運動は、全学年同じ時期に行い、異学年同士で教え合う時間も設けている。今後は器械運動も同じ時期に行い、異学年交流ができるようにする。）
- ・「器械運動」「体つくり運動」の授業の改善（小体連研究との関連）

4 今 年 度 の 取 組	<p>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昇降口近くのホールには、天井からボールを吊り下げ、ジャンプしてタッチするような手立てに加え、昨年度からは、室内用の鉄棒や平均台なども常設しており、サーキット運動ができるよう環境を整えている。</li> <li>年間通じて、毎朝の運動（全校マラソン・全校リレー）に取り組む。</li> <li>小体連行事を通した体力づくり（陸上競技大会：4年生以上 バスケット交流大会：高学年）</li> <li>島内全体の課題を小体連研究部で追究しており、その活動を自校の授業に生かす（器械運動・体つくり運動）</li> </ul>
	<p>(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人の体力調査の結果を、レーダーチャートで表し、保護者に通知する。</li> <li>体力づくりの研修をしている。小学校教諭も参加し、研修を受ける。</li> <li>地区の卓球大会へ参加する。</li> <li>中学校区共通で、生活チャレンジ週間の取組を行い、睡眠やメディア利用の時間について実態を把握する。それに基づき、睡眠時間の確保、バランスの良い食事摂取等、規則正しい生活習慣の確立を目指した保健指導を行う。</li> </ul>
5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）	<p>○</p> <p>●</p>

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	岐阜の島町立北小学校		児童数 (R3.5.1 現在) 25名									
校 長 名	佐々木 朗	体育主任名	錦織 伸吾									
<b>1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）</b> <p>令和二年度の体力テストの結果から体力はおむね全学年県や国の平均を下回っていることがわかった。運動に対する意欲は高いが、苦手意識や運動経験の少なさが運動能力の低さに関係していることが予想される。</p> <p>特に長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げの結果が、全国平均、県平均を大きく下回っている。柔軟性、俊敏性等を高めていくことが課題である。また、ルールが複雑だったり、巧みな動きを要求されたりするような運動に関する能力が全体的に低い。体育の授業で、これらの運動能力を高める運動を継続して取り組みたい。また、抵抗感が少なく簡単に取り組むことができる運動を取り入れ、充実感を持ち楽しんで運動できるようにしていきたい。</p>												
<b>2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th> <th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td></td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td>自校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均		52.4%	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均		52.4%										
自校												
<b>3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況</b> <p>水泳4名、野球1名、サッカー1名、卓球1名、相撲1名が地域のスポーツクラブに所属している。</p>												
4 今 年 度 の 取 組	<p>(1) 具体目標・数値等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの数値を県平均の値と同程度の結果を目指す。</li> <li>・児童の好きな運動や、得意な運動のバリエーションを増やす。(質問紙調査を1学期と3学期に実施して確認)</li> </ul> <p>(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小体連と連携し指導方法等の情報交換を行う。</li> <li>・夏季休業中の校内研修の実施。</li> </ul> <p>(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な運動の目標を設定→課題達成の場の選択→課題達成のための児童同士の学び合い→ふりかえりのサイクルで、運動の行い方を理解し、技能を高める。</li> <li>・ICTの活用。(動画による手本やフォームのチェック等)</li> <li>・運動のバリエーションを広げる。(簡易的なルールから複雑なルールへの移行、様々なルールの鬼ごっこに取り組む等、)</li> <li>・ボール運動等、実態に応じて児童がルールを考え工夫していく活動の実施。</li> </ul> <p>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンを意欲的に取り組めるように工夫する。</li> <li>・地域を生かしたマラソンを定期的(学期に一回)に実施。</li> <li>・なわとび大会を計画し、児童の運動能力や持久力を高める。</li> </ul>											

4  
.  
今  
年  
度  
の  
取  
組

(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等

- ・地域の体育的行事への積極的な参加の奨励
- ・下校後や休日、長期休業中の家庭での過ごし方等の連携した取組を行う。

5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）

○

●

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	隠岐の島町立五箇小学校		児童数 (R3. 5. 1 現在) 83名									
校 長 名	林 明範	体育主任名	和田守 拓馬									
<p>1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年前の新体力テストの結果を全国（50を平均としたとき）と比較したとき、本校の男子の特徴として、握力（55.7）、20mシャトルラン（54.1）、ソフトボール投げ（57.4）、立ち幅跳び（51.7）、50m走（54.4）のポイントが高い。しかし、上体起こし（44.8）、長座体前屈（40.8）はポイントが低い。特に長座体前屈はポイントが低く、柔軟性に課題が見られる。女子の特徴としてほとんどの種目で1ポイント以上上回っている。特に、20mシャトルラン（64.3）やソフトボール（65.2）のポイントが高い。しかし、長座体前屈（44.4）は全国と比べても大幅に低く、柔軟性に課題が見られる。</li> <li>・運動習慣の現状として、体育の授業以外では全校で週に3回朝マラソンと体幹トレーニング、柔軟体操を行っている。また、週に一回、サーキットトレーニングを実施している。</li> <li>・課外活動に参加している児童と参加していない児童の体力差が顕著である。</li> </ul>												
<p>2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th> <th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td></td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td>自校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均		52.4%	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均		52.4%										
自校												
<p>3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の約50%が習い事をしている。</li> <li>・野球、柔道、相撲、水泳、バスケ、バレーなどの習い事をしている児童が多い。</li> </ul>												
4 今 年 度 の 取 組	<p>(1) 具体目標・数値等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「柔軟性の向上」「体幹筋群の筋力および筋持久力の向上」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・立位体前屈で床に手がつく児童を70%にする</li> <li>・上体起こしのスコアを全国平均まで引き上げる。</li> </ul> </li> </ul>											
	<p>(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の教材教具の充実</li> <li>・陸上練習や体力作りなどの課外活動の実施。（4、5月）</li> </ul>											
	<p>(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や<u>重点化する領域・指導内容等</u>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の島後小体連の研究と連携し、体づくり運動の授業の充実を図り、筋力、柔軟性の向上を図る。</li> <li>○低学年においては、授業の中に雲梯・のぼり棒・鉄棒での運動の積み重ねの場を設定したり、五種目歩走を行ったりして、筋力・筋持久力の向上を図る。</li> </ul>											
	<p>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</p>											

4 今 年 度 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取り組み。</li> <li>○週に3回の朝マラソンと「五箇つ子体操（柔軟、体幹トレーニング）」を実施して、筋持久力、柔軟性の向上を図る。</li> <li>○小中が連携し、夜9時以降のメディア接触を行わないという申し合わせを徹底して、規則正しい生活習慣の確立を行う。</li> <li>○年に2回、校内マラソン大会の実施とマラソン週間を設けることで持久力の向上を図る。</li> </ul>
	<p><b>(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の向上を図る。（早寝・早起き・朝ごはん） <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣チェックカードの配布と実践、評価を行う。</li> <li>・夜9時以降のメディア接触を行わないよう家庭へ働きかける。</li> </ul> </li> <li>○地域の体育的行事への参加・協力をする。</li> <li>○保育園年長児や中学生との交流マラソン大会の実施。</li> <li>○地域が主催する冬季体力づくりへの参加の呼びかけ。</li> </ul>
<p>5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>●</li> </ul>	

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	高岐の島町立都万小学校	児童数 (R3. 5. 1 現在)	63名
校 長 名	熊本 直宏	体育主任名	池田 高理

### 1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）

男子 2020		自校の結果					
種 目	年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6
1 握力	R2	9.78	11.60	11.50	15.75	19.50	19.86
	R1	9.40	10.00	14.50	16.50	17.86	
2 上体おこし	R2	16.44	14.40	19.00	19.00	21.67	25.00
	R1	10.50	15.33	17.50	20.13	22.86	
3 長座体前屈	R2	27.33	27.20	27.50	30.25	34.17	37.29
	R1	26.20	26.67	27.50	27.50	30.57	
4 反復跳び	R2	32.22	35.40	38.00	43.50	44.67	48.00
	R1	29.80	36.67	42.75	40.00	45.00	
5 シャトルラン	R2	28.89	22.00	28.50	59.25	51.83	56.14
	R1	22.20	39.33	48.00	48.00	57.86	
6 50m走	R2	10.44	10.22	10.25	9.35	8.73	8.95
	R1	11.42	10.20	9.63	8.98	8.79	
7 立ち幅跳び	R2	128.78	128.80	121.50	152.00	159.67	165.17
	R1	115.20	131.33	153.00	157.25	161.71	
8 ソフトボール投げ	R2	10.89	14.40	21.50	22.50	29.40	35.83
	R1	10.00	18.67	17.25	23.50	31.57	

女子 2020		自校の結果					
種 目	年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6
1 握力	R2	10.00	10.29	12.25	12.00	17.00	16.20
	R1	8.29	11.25	9.75	14.50	13.40	
2 上体おこし	R2	13.00	13.00	19.25	18.00	23.60	20.25
	R1	8.57	11.75	12.25	17.75	18.40	
3 長座体前屈	R2	27.50	30.00	33.00	29.00	37.20	35.60
	R1	28.71	28.75	32.25	31.75	35.00	
4 反復跳び	R2	28.50	31.29	37.75	36.25	43.80	43.00
	R1	23.57	39.50	33.50	34.50	44.40	
5 シャトルラン	R2	22.50	23.29	46.25	37.75	47.60	54.25
	R1	18.86	39.00	27.75	35.33	45.40	
6 50m走	R2	11.00	11.47	9.65	10.35	9.06	8.88
	R1	11.93	9.98	11.35	9.80	9.14	
7 立ち幅跳び	R2	116.00	102.57	133.75	129.25	147.00	159.75
	R1	101.71	132.25	113.75	127.25	153.40	
8 ソフトボール投げ	R2	4.50	7.43	10.75	8.00	13.20	16.50
	R1	6.57	11.25	6.00	9.75	13.60	

本校の記録を R1 年度、R2 年度で比較すると、それぞれの学年で前年度よりも成長が見られた。特に長座体前屈の値が前年度よりも大きくアップしていた。長座体前屈は R1 年度に、どの学年でも県平均よりも低かった項目である。意識して取り組んだことが少しづつ成果として表れているといえる。県平均よりも特に低かった項目であった握力やソフトボール投げについてはそれほど伸びが感じられなかった。特に女子の記録に課題がある。校区が広く、あまり子どもたち同士で外遊びする機会が少なかつたり、スポーツクラブへの加盟が少なかつたりなど、運動の機会がない児童の数値が低くなっている。そこで投げる力や筋力をつける活動を通して行うことが必要である。その他にも毎朝全校で朝マラソンを行ったり、休み時間に運動遊びのイベントを行ったり、学期に1回ずつ校内マラソン大会を開催したりして児童の体力の向上を図っていく。また、雨で校庭を走ることができない時に、教室で筋力を高める取り組みが必要だと考える。引き続き児童が運動に親しめるように手だてを考えていく必要がある。

### 2. 前年度の実技習得状況調査（水泳 R2. 8月、鉄棒 R2. 1月調査依頼）の結果

6年生の水泳運動「25m完泳率」

4年生の器械運動「逆上がり達成率」

### 3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況

本校の児童の社会体育への参加状況は男子の約25%が野球チームに参加し、数人がバスケットボール、相撲、卓球のチームに所属している。女子は水泳、バスケットボール、卓球のチームに数人が所属している。

4 今 年 度 の 取 組	(1) 具体目標・数値等
	・新体力テストでB段階以上の児童の割合を60%以上にする。 ・筋力、投げる力をさらに高める。（県の平均を上回る）昨年度の記録から握力プラス2kgアップ、ソフトボールはプラス3mを目指す。（上り棒や、うんてい、鉄棒等の機会を増やしていく。）
	(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画
	・6月までに職員会議で、自校の体力向上計画について体育主任が説明し、共通理解を図る。 ・1学期の体力テストを全校体制で取り組み、結果を分析し、教職員で共有する。 ・つけさせたい力を明確化し、体育担当教員で共通して1年間取り組むことを話し合う。 ・毎日の体力づくりを委員会と連携し、児童主体ができる仕組みを整える。
	(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通じた取組や重点化する領域・指導内容等）

4 今 年 度 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体づくり」系の領域を重点領域に位置付け、学年ごとに「身に付けさせたい動き」の系統表を作成する。各学年の体育担当者がつながりを意識した授業を計画する。</li> <li>・単元に合った、基礎技能、基礎感覚づくりを各学年に合わせ作成していく。</li> </ul> <p><b>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量の確保や柔軟性を高めることを意識した体育の授業、授業公開、元気アッププログラムの活用など。</li> <li>・月1回の全校遊びをする。（体力づくりを意識したものを見童会で企画する）</li> <li>・毎日の朝の活動の実施。（朝マラソン、ドラえもん体操）</li> <li>・放課後を使った、体力アップ週間の実施。</li> </ul> <p><b>(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や家庭との連携による取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポ少や相撲、卓球、遊びの広場などに参加する児童を増やす。</li> <li>・家庭との連携を図り、継続的にストレッチを行う。</li> </ul> </li> <li>○体力向上を目指した生活習慣の確立、食育推進の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の適正化を目指し、生活調査と家庭との連携、ノーメディアデーの実施を行う。</li> </ul> </li> <li>○中学校との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から体幹トレーニングを保小中で連携して行っている。引き続き体育の授業で行っていく。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）</b></p>

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	西ノ島町立西ノ島小学校	児童数 (R3. 5. 1 現在)	107名
校 長 名	増本 邦雄	体育主任名	米原 敬人
1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）			

○令和2年度体力・運動能力調査等の結果より

- 「持久力」「走・跳に関わる技能」については、県平均と比べ高い児童が多い。
- 「握力」「長座体前屈」については、県平均と比べ、弱みが見られる。
- その他の種目については県平均並み

2. 前年度の実技習得状況調査（水泳 R2. 8月、鉄棒 R3. 1月調査依頼）の結果

	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」
県平均		52.4%
自校		

3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況

西ノ島町内には男子ミニバス、レスリング、テニス、剣道、女子バレーのクラブがある。この内のいずれかに属している児童は多く、中でもミニバスは、高学年男子の5割程度が加入している。

(1) 具体目標・数値等

「握力、腹筋を中心とした上半身の筋力や柔軟性の向上」

- 握力、長座体前屈の記録の10%向上を目指す。

「体育的活動における思考力・判断力の育成」

- 特性に触れ、動きを高めていくための思考力・判断力の育成を目指し、体育授業の中での意図的、計画的な言語活動の充実を図る。

(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画

島前小体連や隠岐教研体育部会の研究（器械運動）に併せた公開授業、授業参観、研修会等を計画している。

(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）

- 体育の授業では、準備運動で柔軟性を高める運動を取り入れたり、鉄棒や登り棒、うんていなどの遊具を活用した握力の強化を図ったりする。
- 器械運動の特性に触れ、動きを高めていくための単元計画と授業構想の工夫と改善を図る。
- タブレット端末などICT機器を活用し、児童が自分の運動の出来栄えを客観視することで、自己の課題に気づき、目標に向けて意欲的かつ効率的に学習が進められるようにする。

(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）

- 業間休憩前の5分間はパワーアップタイムとし、年間を通して持久走を行う。
- 4月、9月に行われる陸上大会に向けて、練習時間を確保するとともに、効率的な練習になるようメニューを作成する。
- 冬季における縄跳び活動の練習の成果を発揮する場として、2月に縄跳び大会を実施し、意欲、技能の向上を図る。
- 運動量が低下する冬季には、体力向上をねらい、放課後に体力作りを行う。
- 体育委員会が主体となり、朝マラソンへの呼びかけや体育倉庫の整理整頓を行う。

4  
今  
年  
度  
の  
取  
組

(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等

- ・学期に1回、保護者や地域のボランティアに協力していただきながら、町内の路上コースを使ったマラソン大会を行う。
- ・地域資源を生かし、4、5年生は海洋スポーツ体験、6年生は着衣水泳訓練を行う。
- ・学期に1回、小中合同縦割り班活動として、スポーツレクリエーションを行う。
- ・10月に小中合同運動会を実施し、保育園や保護者、地域の方にも参加を呼びかける。
- ・学期に1回、生活リズムチェックシートを各家庭に配布し、規則正しい生活習慣の形成の一助とする。

5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	海士町立海士小学校		児童数 (R3.5.1 現在) 58名									
校 長 名	平田 昭	体育主任名	長崎 宏彰									
<p>1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数が少なく、学年ごとの男女別のデータ比較となると、平均値に対する1人当たりの割合が大きすぎるるので、県の平均値との単純な比較は難しい。</li> <li>・小1の男子、小6の女子は、すべての種目で県の平均を上回っている。</li> <li>・小1の女子、小5小6の男子は半分以上が県の平均を下回っている。</li> <li>・その他の学年は、ほとんどの種目（5種目以上）で県の平均を上回っている。</li> <li>・種目別では、長座体前屈とシャトルランで、全体的に平均値を超えている。</li> <li>・女子は、立ち幅跳びでも平均値を超えている。</li> <li>・男子は、握力と上体起こし、ソフトボール投げで、3つの学年が平均値を下回っている。</li> <li>・女子は、握力と50m走で、3つ以上の学年が平均値を下回っている。</li> <li>・握力と50m走、ソフトボール投げは男女ともに課題である。</li> </ul> <p>※上記は一昨年度の現状であり、昨年度はコロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことが好きな児童は多く、休み時間には校庭や遊具のある中庭で遊んでいることが多い。</li> </ul>												
<p>2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th> <th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県平均</td> <td></td> <td>52.4 %</td> </tr> <tr> <td>自校</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均		52.4 %	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均		52.4 %										
自校												
<p>3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育は、バスケット・バレー・剣道・テニス教室の4種類。</li> <li>・バスケットボールは週2、バレーは週1、剣道は週2、テニス教室は週1回で活動を行っている。</li> <li>・バスケットボールクラブには、8名（6年男子3名、5年男子1名、4年男子3名、3年男子1名）所属している。</li> <li>・バレークラブには3名（6年女子2名、5年女子1名）所属している。</li> <li>・剣道クラブには1名（4年男子）所属している。</li> <li>・テニス教室には2名（4年男子1名、3年男子1名）所属している。</li> </ul>												
4 今 年 度 の 取 組	<p>(1) 具体目標・数値等</p> <p>「毎日主体的に運動する習慣づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体を動かす楽しさや運動量を増やし、体力を向上させていくよさを実感できる体育学習の授業づくりを工夫する。</li> <li>②「1日1時間以上の運動をする」について80%以上を目標とする。</li> <li>③マッスルタイムを実施することで、全体の体力向上を図る。</li> <li>④マラソン大会・なわとび大会の実施によって、意欲的・自主的に練習に取り組ませる。（各大会では、個人とチームの記録を提示し、記録の更新を目指す）</li> </ul>											

4 今 年 度 の 取 組	(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島前小体連は、器械運動の研究を行っている。小体連の研究に合わせ、授業を本校で積極的に行っていく。各学年の体育担当者で話し合い、授業の改善を行っていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島前バスケットボール大会、島前陸上大会という校外の運動行事に向けて、高学年を中心に放課後練習を行っていく。教職員全体で指導に関わることで、指導技術の向上を図る。</li> </ul>
	(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「器械運動」系の領域を重点領域に位置付け、学年ごとに「身に付けさせたい動き」の系統表を作成する。各学年の体育担当者がつながりを意識した授業を計画する。</li> <li>・単元にあった、基礎技能、基礎感覚づくりを各学年に合わせ作成していく。</li> </ul>
(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭で遊ぶ児童を増やすために、校庭の整備を行う。(サッカーゴールの設置、ラインを引くなど) また、マッスルタイムの活動場所に校庭も設定する。</li> <li>・体力向上のための時間（マッスルタイム）を設定する。学校周辺マラソンや鉄棒などの児童の運動能力を高めていく時間とする（雨天時はダンスの運動）。</li> <li>・なわとび大会などの大会を位置づけることで、全校で「大会」という目標に向けて取り組めるようにする。</li> </ul>	
(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストや校内行事の結果を保護者に伝え、個人の成長や課題を家庭と共有していく。</li> </ul>	
5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）	
<input type="radio"/> ○	
<input type="radio"/> ●	

## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	海士町立福井小学校		児童数 (R3.5.1 現在) 57名									
校 長 名	濱板 健一	体育主任名	原 優一									
1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1の島根県平均と本校児童の結果を比較すると、20mシャトルラン、ソフトボール投げ、立ち幅跳びがほとんどの学年が県平均を上回っている。一方、握力は全ての学年が県平均を下回っている。</li> <li>・体力テストの総合評価でA段階が20%、B段階が35%、C段階が30%と、D段階が15%という結果であり、R1年度、目標としていたC段階以上85%という目標を達成することができた。運動を苦手とする児童への指導、苦手な種目に対する取り組みなどにも焦点化して、改善に向けて取り組んでいく。</li> </ul>												
2. 前年度の実技習得状況調査（水泳 R2.8月、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th><th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県平均</td><td>未実施</td><td>50.9%</td></tr> <tr> <td>自校</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均	未実施	50.9%	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均	未実施	50.9%										
自校												
3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で約59.6%の児童が地域のスポーツクラブに所属している。クラブには、レスリング、バスケットボール、剣道などがある。（男子 約65.7%、女子 約50%）</li> </ul>												
4. 今年度の取組	(1) 具体目標・数値等											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テストの総合評価でC段階以上の割合を90%に向上させる。（昨年度未実施 一昨年度85%）</li> <li>・走力の向上を目指し、年3回のマラソン大会で全員に自己記録更新を達成させる。</li> </ul>											
	(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で本校の児童の運動能力に関する課題を把握し、各種運動に取り組むようにする。</li> </ul>											
	(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業においては、島前小体連の研究部との連携を図り、器械運動などの学習を重点単元として位置づけ、児童が自分で課題を見つけて記録を伸ばそうとするような単元構想、授業の工夫を図る。</li> <li>・タブレット端末などを活用し、自分や友達の動きを視覚的に捉え、グループでの話し合いを通して課題解決を行う。</li> </ul>											
	(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で毎日朝マラソンを実施し、みんなで体力を高めていくように工夫する。（現在未実施）</li> <li>・毎週水曜日を外遊びの日として設定し、遊ぶ時間を確保する。</li> <li>・学期ごとにマラソン大会を実施する。（年3回）</li> </ul>											
	(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を食べる、早寝早起きの習慣、メディア視聴など生活習慣に関するアンケートを実施して実態把握を行い、家庭と連携を図りながら生活習慣の改善に努める。</li> <li>→「健康チャレンジシート」を学期に1回行う。</li> <li>・体力テストの結果やマラソン大会の結果などを家庭に周知する。</li> </ul>											
	5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）											



## 令和3年度 体力向上推進計画【小学校】

学 校 名	知夫村立知夫小学校		児童数 (R3.5.1 現在) 17名									
校 長 名	若本 剛	体育主任名	柴木 真和									
<p>1. 体力・運動能力調査等をふまえた児童の体力や運動に対する意識及び運動習慣の現状（経年変化や県・国との平均比等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に作成した本校の体力向上推進計画をもとに、昨年度実施した新体力テストの分析を行う。</li> <li>・昨年度はコロナウイルス感染防止対策のため、全ての項目の記録が取れていない。そのため、正確な分析はできていないが、「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」の記録がよかったです。一昨年度も課題であった「ソフトボール投げ」は、今年度も引き続き力を入れて取り組む必要がある。</li> <li>・新体力テストの総合評価では、昨年度おおむねB段階以上80%を達成することができた。</li> </ul>												
<p>2. 前年度の実技習得状況調査（水泳は未実施、鉄棒 R3.1月調査依頼）の結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>6年生の水泳運動「25m完泳率」</th> <th>4年生の器械運動「逆上がり達成率」</th> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td></td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td>自校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」	県平均		52.4%	自校		
	6年生の水泳運動「25m完泳率」	4年生の器械運動「逆上がり達成率」										
県平均		52.4%										
自校												
<p>3. 運動部活動や地域のスポーツクラブ等への加入状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童の約3割の児童がスポーツクラブに加入している。</li> </ul>												
4 今 年 度 の 取 組	<p>(1) 具体目標・数値等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの総合評価で、B段階以上の割合80%以上とする。</li> <li>・走力の向上を目指し、年3回のマラソン大会で80%の児童に自己新記録を達成させる。</li> </ul>											
	<p>(2) 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県保健体育科配布DVD「体育の授業が楽しくなるシリーズ（器械運動）」を教職員全員に周知する。</li> </ul>											
	<p>(3) 体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体力の実態を知り、課題解決を意識して体力を向上させていく授業づくりを行っていく。</li> <li>・運動の質と量を意識した授業づくりに努める。</li> <li>・今年度も継続して運動を苦手とする児童への指導、苦手な種目に対する運動などにも焦点化して、改善に向けて取り組んでいく。器械運動系では特に鉄棒運動について力を入れて取り組んでいく。</li> </ul>											
	<p>(4) 体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回、生活習慣調査を行い、実態を把握するとともに個別に指導・助言を行っていく。</li> <li>・栄養教諭と連携を図りながら、年間計画に沿って食の学習ノートを活用した食育の充実を図っていく。</li> <li>・縦割り班活動の一つで、集団作りと体力づくりをねらいとした「らんらんタイム」を設定し、持久走、投げる運動、柔軟性を高める運動などを行う。（10分程度）</li> </ul>											
	<p>(5) 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭が連携した体力向上の取り組みの実践について、今年度も継続して行うこととする。</li> <li>・小・中9年間継続して使える新体力テストの記録票を活用し、テスト実施後、本人や家庭に知らせる。また、中学部入学時の資料とし、連携を図っていく。</li> <li>・全隠岐陸上大会や島前陸上大会の前に、けがの防止のためのジョギングやストレッチなど、家庭で子どもと一緒にしてもらえるように、通信等を通じて協力をお願いする。</li> </ul>											
<p>5. 今年度の成果（○）と課題（●）及び来年度に向けての方針（年度末に記入）</p>												

1. The following is a list of statements concerning the use of the Internet by students. Please indicate whether each statement is true or false.